茨城県　柴木材店　［つくば市・K邸］

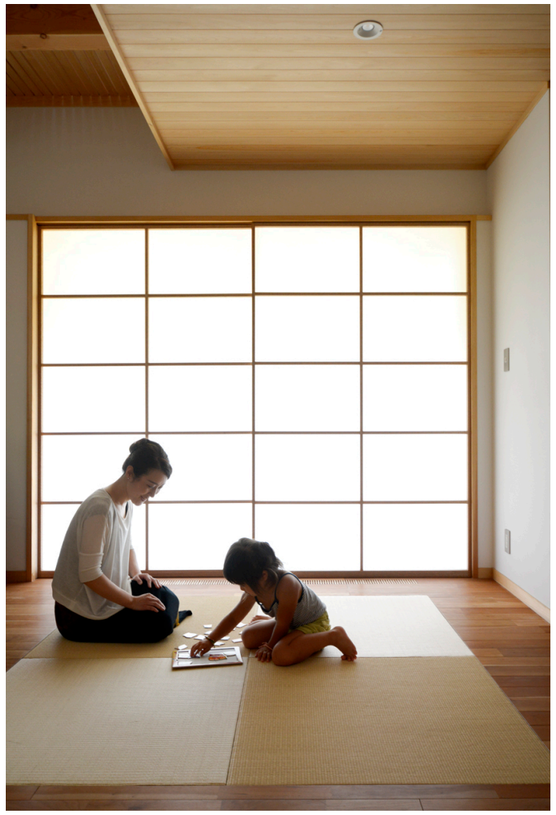
くつろぎのリビングと凛とした茶室がある住まい

家の中にいても、自然の恵みを感じられる木の住まいを――。そう願った夫婦から家づくりを託されたのは、デザイン性とOMの家づくりに長けた工務店。念願の茶室もできあがり、一つの家で異なる空気感を満喫している。

写真・輿水 進

太陽光を得るため、通りに対しては45度に振り、真南に向けて建つ。玄関左手の1階建て部分が茶室。

全開口が気持ちいいリビング。ソファを敢えて置かなかったのは、どこを向いてもくつろげる畳のメリットを生かすため。



上：2枚並んでいるのに1枚のように見えるデザインの障子。　下：芝生が育つ明るい庭。通りに対して角度がついているので視線が気になりにくい。

新しい住宅が並ぶ中、杉板の塀が町並みにやさしい雰囲気を添えているK邸。玄関へ入ると左右それぞれに扉があり、右へ進むと光に満ちたリビングにつながる。南面に大きく開いた開口部からは庭で遊ぶ娘さんの姿が。「ブルーベリーあったよー！」と小さな掌に広げてみせてくれた。

その一方、左手の扉を開けてみると空気が一変する。茶器が並ぶ水屋、その先には茶室が続く。ゆくゆくは茶道教室を開きたい奥さんの思いが詰まった場所だ。社会人になってから、導かれるように茶道の世界に魅せられたという。

「2種類の家が合体したような家なんです（笑）。だけど外から見ると統一感がある仕上がりで見事だなと」とご主人。明るいリビングまわりと静かな茶室、それぞれが距離を保ちつつ、端正にまとまっている。

以前は築40年ほどの集合住宅に暮らしていた。しかし老朽化から取り壊しが決まり、そこから家づくりが始まる。思い描いたのは、洗練された木の空間でありつつ、自然の恵みを感じる住まいだった。

偶然目に飛び込んだパンフレット

の写真が気に入り、柴木材店と出会った。同社の本拠地は茨城県下妻市。材木店から始まり、現在は三代目の柴修一郎社長に引き継がれ、八溝の木を中心に使用したデザイン性の高い家づくりに力を注いでいる。

「当社の門を叩いてくださるのはこだわりが強いお客さまばかり。期待に応えたいですね」（柴社長）と、ものづくりに向き合う姿勢を貫く。

モデルハウスを訪れた夫妻が見たのは、のびやかな間取りと良質な木材や調湿性のある素材で囲まれた空間。そして開口部や障子の納まりなど、細部の積み重ねが全体の居心地の良さにつながっていることに気づく。OMソーラーシステムの清々しい空気も体感し、取り入れるのに迷いはなかった。

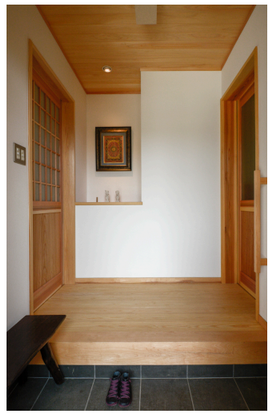
上：深い和の世界が広がる茶室。　右下：水屋には長年集めた茶器が並ぶ。　左下：娘さんも保育園でお茶のお稽古をしていて、抹茶が大好きなのだそう。

太陽の恵みを受け、快適な暮らしを

以前の住まいに比べて、夏はからりと涼しく、冬は陽があればOMのおかげで暖房もいらない。太陽光発電とOMが一体となったOMクワトロソーラーを搭載し、光熱費の収支は年間を通して概ね0円を達成しているそうだ。

同社が手がけてきたOMの家は実に250棟以上になる。その第1号は柴社長の実家で、学生時代までを過ごした家に実験的にOMエリアと非OMエリアをつくったもの。冬場の違いは歴然で、暖かいエリアに家族が自然と集まっていた。「OMが

右：吹き抜けは、すのこ状の床にして物干し場として活用。　中：書斎はこぢんまりと落ち着く場所に。　左：寝室は慣れ親しんだ畳で。

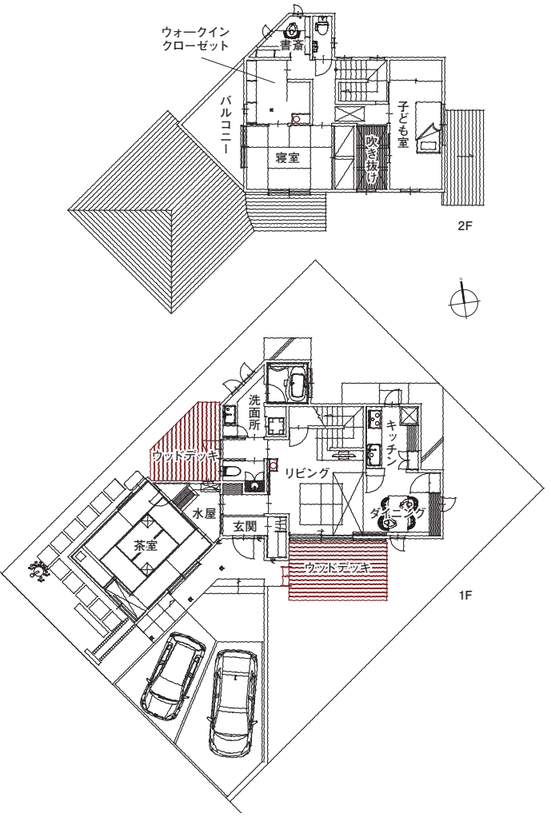


玄関。右手の扉はリビング、左手の格子状になった扉は茶室へと続く。それぞれ雰囲気の異なる建具に。

DATA
- ＊所在地……茨城県つくば市
- ＊家族構成……夫婦＋子ども1人
- ＊敷地面積……244.83㎡
- ＊延床面積……120.68㎡（1階74.72㎡　2階45.96㎡）
- ＊竣工……2014年7月（工期2013年11月〜2014年7月）
- ＊設計・施工…㈱柴木材店　☎0296-43-5595
- ＊構造形式……木造在来工法
- ＊主な外部仕上げ
  屋根／ガルバリウム鋼板横葺き
  軒天井／ケイ酸カルシウム板、杉羽目板張り
  外壁／白洲そとん壁塗り＋檜縁甲板
- ＊主な内部仕上げ
  天井／ビーナスコート、檜縁甲板張り、杉板張り
  壁／ビーナスコート、クレイペイント
  床／杉縁甲板、アメリカンブラックチェリー

上：ダイニングからの眺め。　右下：造作のキッチンはシックな色調でまとめられている。　左下：洗面所のタイルもキッチンにあわせて。

手前にKさん一家。奥に柴修一郎社長。

あるだけでここまで違うのが不思議で。居心地のよい場所に欠かせないものなのだと。だからおすすめしています」（柴社長）。

デッキで夕飯を食べたり花火をしたり、外を楽しむ暮らしを満喫しているKさん一家。「庭で涼みながら我が家を眺めるのもまたいいですよ」とご主人が顔をほころばせた。